

HULFT

C A S E S T U D Y

HULFT-HUB

九州旅客鉄道株式会社



データ連携基盤の中核にHULFT-HUBを導入 SUGOCA関連システムと既存システムとの データ連携で管理の効率化と安定運用を実現

新博多駅ビル (完成予定図)

交通機能、商業機能、コミュニケーション機能が充実する
日本最大級の駅ビルとして2011年春に開業。
九州・アジアの玄関口として大きな役割を担っていく。

さくら

九州新幹線全線開通時から九州・山陽区間を直通運転する新型列車。
新大阪駅～鹿児島中央駅間の約900キロを約4時間で結ぶ。

SUGOCA

JR九州が発行するICカード乗車券
「Smart Urban GOing CArd」の略称。



データ連携基盤の中核にHULFT-HUBを導入 SUGOCA関連システムと既存システムとの データ連携で管理の効率化と安定運用を実現

JR九州は内部統制対策を目的にシステムの「標準化」を推進。その一環としてデータ連携の標準化ツールにHULFT及びHULFT-HUBを採用し、多様なシステムをつなぐデータ連携基盤を構築した。これにより、運用管理手法が統一され、システム基盤が整った。また複数のHULFTを統合管理する仕組みも整備され、システム間の連携度が向上。データ転送設定作業の効率化とシステムの安定運用を実現している。



九州旅客鉄道株式会社
総合企画本部
IT推進室 室長

大石 和弘氏



九州旅客鉄道株式会社
総合企画本部
IT推進室 主査

桑野 幸久氏

主力の鉄道事業に加え、駅ビルの開発・運営、流通・外食など事業の多角化を進めるJR九州。2009年3月にはICカードSUGOCAのサービスを開始したほか、2011年春には九州新幹線(鹿児島ルート)全線開業及び新博多駅ビルの開業を予定している。「JR九州は会社発足以来、鉄道サービスの利便性・安全性向上に努めながら、鉄道以外の事業拡大を進めてきました。今後は更なる経営基盤の強化を図ることが重要」と話す総合企画本部 IT推進室 室長の大石 和弘氏。SUGOCAや新博多駅ビル開業はこうした流れの中に位置づけられる戦略的な事業だ。

していくことが予想されました」(大石氏)。それとともにシステム間のデータ連携の課題が浮上してきた。総合企画本部 IT推進室 主査の桑野 幸久氏は次のように当時を振り返る。

「システム間のデータ連携を担うツールはシステムごとに異なり、運用管理の手法がまちまち。それぞれのデータ転送の状況も把握できませんでした。手法が異なるので、障害の切り分けにも時間がかかり、ログ管理もバラバラ。担当者が替わると、複数の運用管理手法を一から学ばねばならず、技術継承も大変でした」。

標準化ツールとしてHULFTを採用 HULFT-HUBでデータ連携基盤を構築

鉄道会社には公共交通機関としてシステム面においても高い安全・安心が求められる。そこで同社はデータ連携の課題に着目すると同時に、内部統制対策に向けたルール作りとして、2008年3月にシステム標準化の指針を策定。その中でデータ連携の標準化を進めることとなり、同10月にHULFTおよびHULFT-HUBの導入を決定した。「選定

システムごとにツールが異なり データ連携の管理方法が煩雑に

事業の多角化に伴い、同社ではオープン化を進めるとともにシステムの拡充を推進してきた。「2010年3月からはSUGOCAによる地下鉄や西鉄、JR東日本のICカードとの相互利用、ポイントサービスの導入などを予定しており、基幹系/情報系など既存システムとの連携を計画。システムはますます多様化

User Profile



九州旅客鉄道株式会社

本社
福岡市博多区博多駅前3-25-21

営業開始
1987年4月1日

資本金
160億円(2009年3月末現在)

事業内容
九州地域における旅客鉄道事業を基盤に、駅ビル開発やホテル、マンション事業、流通・外食事業などを展開。地域に密着した総合生活サービスを提供している。

の決め手は運用がしやすく、マルチプラットフォーム対応であること。圧倒的な国内シェアを誇り、実績が豊富なこともポイントでした」と話す大石氏。それを受けて桑野氏は次のように続ける。「システム全体の中でデータ連携部分は多数あり、それぞれにHULFTの導入が必要でした。しかし、そうすると管理が分散・複雑化してしまいます。標準化を進める上で、管理性の向上は重要な要件。そこでHULFT-HUBを導入し、HULFTの統合管理を目指しました」。

また基幹システムは主力の鉄道事業を支える重要な基盤。「セキュリティの観点から、基幹システムと他システムは直接接続しない形が望ましい。HULFT-HUBがあれば、シームレスなデータ連携を実現しつつ、ゲートウェイとして機能し、こうした課題を解決できます」(桑野氏)。

**転送処理のタイムラグを吸収し
システム間の連携度が緊密に**

現在のシステム構成は図に示した通りだ。システム構築作業は2008年12月よりスタートし、2009年3月に本格稼働を開始した。HULFTとHULFT-HUBで構成されるデータ連携基盤は各システムをつなぐ重要なインフラとなっている。「従来は独立したシステムをファイル転送ツールでつないでいるだけだったので、相手先がメンテナンス中だとデータを送れないこともあり、運用を合わせるのが大変でした」と語る大石氏。しかし、現在はHULFT-HUBにデータを渡しておけば、そこで送信先の状況を判断し、確実にデータを転送できる。「HULFT-HUBを経由することでタイム

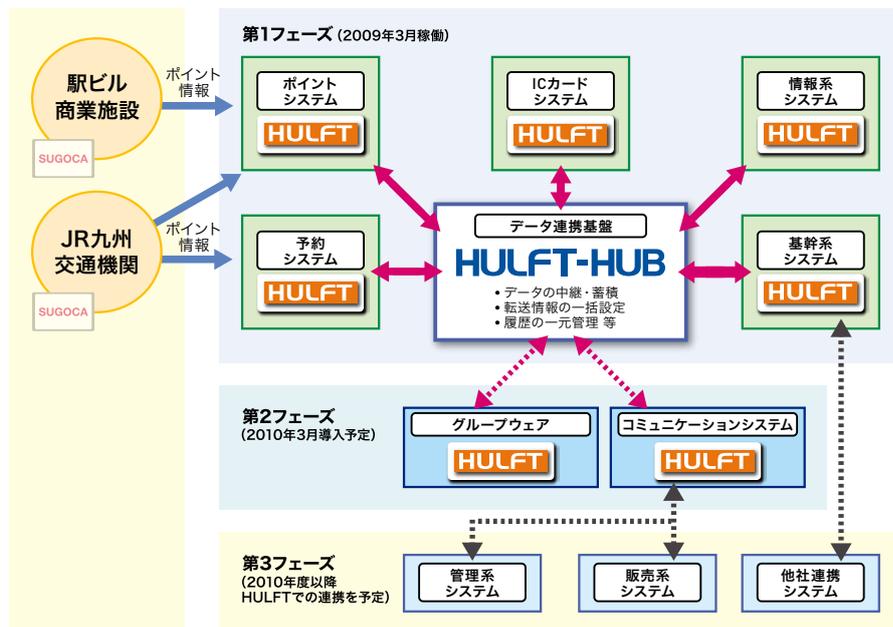


図1 データ連携基盤を中心としたICカード(SUGOCA)関連システムのデータ連携イメージ
HULFT-HUBによるデータ連携基盤を中核として、各種システムがHULFTを介してつながっている。データ連携基盤があることで、システム間の接続構成が簡素化され、HULFTの一元管理も可能になった。

ラグを吸収してくれ、システム間の連携度が大きく高まり、安定運用につながっています。今は1日約30ファイルの転送処理を確実かつスムーズにこなしています。転送状況も一元的に把握できるので、いつ・どのデータを送受信したかもすぐにわかります」と桑野氏はそのメリットを述べる。

運用管理の内製化も可能になった。従来はツールの数だけ障害パターンがあり、その切り分けや管理も大変だったが、今は統一化された基盤なので、障害切り分けなどの調査も迅速に行える。しかも、導入にあたってはシーズン情報システムズが全面サポート。「社内スキルが短期間で高められ、自社内で対応できるようになりました。例えば、転送の追加・変更も、今では作成した専用シェルスクリプトを利用することで簡素化され、運用管理の負荷軽減につながっています」(桑野氏)。

データ連携基盤を使えば、操作ログの収集も可能だ。内部統制やコンプライアンス対策には操作ログの取得と管

理が重要なポイントになる。具体的な活用はこれからだが、監査対策としてログの取得は継続して行っているという。

本格稼働から約1年が経過したが、データ連携基盤の進化は今も続いている。2010年3月にはグループウェアシステムへのHULFTの導入を予定。2010年度以降も販売系・管理系システムなどをデータ連携基盤につなげる計画だ。サーバー更改時にはHULFTを新たなシステムへも導入していくという。定量的な効果が表れてくるのはこれからとしながらも、大石氏は「今後は十分な効果が期待できることから、グループ内の横展開も推進し、将来的には全システムのデータ連携ツールをHULFTに一本化したい」と話す。この言葉からHULFTに対する高い評価と期待の大きさがうかがえる。

お問い合わせ

株式会社 **シーズン情報システムズ**

HULFTフリーダイヤル ☎ **0120-80-8620**
※利用時間 9:15 ~ 17:45 (土・日・祝日および年末年始を除く)
E-mail : hulft@season.co.jp



- HULFT、その他HULFT関連製品は、株式会社セゾン情報システムの登録商標または商標です。
- IBMi、AIX は、米国における米国International Business Machines Corporation の登録商標です。
- 記載されている会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本カタログに記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示(TM、®)を付記していません。

SAISON
INFORMATION
SYSTEMS
CO.,LTD.

[お問合せ先]

株式会社 **セゾン情報システムズ**

HULFTフリーダイヤル ☎0120-80-8620

※利用時間 9:15~17:45(土・日・祝日および年末年始を除く)

HULFT営業部

〒170-6021 東京都豊島区東池袋3-1-1
サンシャイン60 21F
TEL 03-3988-5301 FAX 03-3980-4830

名古屋営業所

〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2-14-19
住友生命名古屋ビル 21F
TEL 052-588-5591 FAX 052-588-5592

関西事業所

〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-5-16
肥後橋MIDビル4F
TEL 06-6479-1151 FAX 06-6479-1152

九州サテライトオフィス

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-19-27
九勤博多駅前ビル
TEL 092-434-4527 FAX 092-434-4528

URL <http://www.hulft.com/> e-mail hulft@saison.co.jp

このカタログの記載内容は、2010年3月現在のものです。本カタログの記載内容は予告なく変更することがあります。